

Q6 ブックハンティングに参加した感想をお聞かせください

僕が今まで本を買うときは事前に買うものを決めて、買いたいものしか買わないようなやり方でした。しかし、書店に行って自由に本を選んで買う方が楽しいということが今回のイベントでわかりました。絶対に買わないような本でも、手にとってあらすじを読んだり、どんな本か考えるのが楽しく感じました。

しかも自分の気に入った本が読めるので、これはとても良いイベントだと思います。また来年も行く予定です。楽しみにしています。

(システム制御情報工学科1年 坂井 葉)

自分の読みたい本、人に読んでもらいたい本などを自由に選べるのが良いと思いました。参加者それぞれで選ぶ本のジャンルが違うのも、いろいろな本が図書館に入ることなので、図書館で読める本の幅が広がるのが楽しみです。自分が気になっていたけど買えなかった、または買っていなかった本や書店を歩いていて目についたおもしろそうな本、人に読んでもらいたいと思う本などを選んだので、自分にとってとても楽しい経験だったので、予定が合えばまた次回も参加したいです。本が入ったらぜひ自分でも読みたいし、他の人にもたくさん読んでもらいたいと思います。

(物質化学工学科1年 江口 侑里)

昨年に続き参加させて頂きました。今年も企画して頂き、ありがとうございます。

学校内の図書館の蔵書を選ぶということで時間をかけて慎重にするよう心掛けました。ですが自分の趣味の本も数冊選ぶこともでき、普段読まない本にも触れることができた事もあり、良い経験になりました。

(物質化学工学科2年 折橋 佳奈)

ブックハンティングの参加は今回で3回目になります。

私は購入したい本をあらかじめ何冊か考えておいたので、スムーズに選書できました。また参加したいですが、もっと多くの人に体験してもらいたいので、来年は私が選ばれないくらい応募人数が多ければいいなと思います。

(物質化学工学科3年 木村 心)

去年も参加しましたが、とても楽しかったです。自分の好きな本を入れてもらえたので、読むのが楽しみです。私が選んだのはファンタジーの本ばかりですが、とても好きな本なので読んでほしいと思います。また、他の方が選んだ作品も興味があるので読んでみたいと思います。

(電気情報工学科5年 廣山 千容)

高専という専門教育を主とする学校で学んでいると、個人的に欲しくても買えないような高価な専門書がほしくなることが度々ある。ブックハンティングはそのような専門書も学校に買ってもらうことができ、学生からしたら非常にありがたいイベントである。今年は参加者も少なかったそうなので、非常にもったいないと思う。来年はより多くの学生がこのイベントに参加してもらいたい。

(応用化学専攻1年 中島 優作)